なすしおばら

社協だより

那須塩原市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
『こころまる』

那須塩原市社会福祉協議会　令和6年12月20日発行　第92号

特集 つながりみのる なすしおばら

今号では、未来を創る子ども達のために取り組んでいる活動や地域の支え合い活動の一部をご紹介します。
地域の「つながりの力」を是非感じてください。

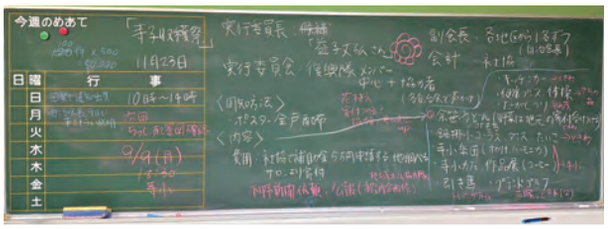
ホームページ　Facebook

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。
詳しくは社協総務課までご連絡ください。

特集 つながり みのる なすしおばら

旧寺子小学校で地域の盛り上がりを再燃させよう!!

話し合いの様子



地域を盛り上げるために白熱した話し合いが黒板からも伝わってきます。

鍋掛地区内の自治会長や生きがいサロンの代表者、地域住民らで構成する「寺子地区を考える会『寺子復興隊』」では、定期的に集まって地域の課題等についての話し合いをしています。

同会では、コロナ禍により地域のイベントが減ってしまったことで地域住民が顔を合わせる機会が少なくなり、関係性が希薄化してしまったことを心配していました。そのような中、話し合いを進めていくにつれ、「まつりで盛り上がろう」という思いが強くなりました。そして、これまでこの地域でイベントの中心地となっていた旧寺子小学校を活用することで、懐かしさを感じながら、多くの地域住民の方々が楽しめるような祭りを開催するため、話し合いを進めています。

共英コミュニティが取り組む「制服バンク」

共英コミュニティでは、子ども達が安心して学校に通い、就学できる環境を作りたいという想いから、令和４年度から子どもの進学や成長により使わなくなった制服や体操着、ランドセルを預かり必要な方に届ける「制服バンク」の活動に取り組んでいます。

※令和７年度から黒磯地区の制服が変更となるため、現在、厚崎中学校の制服は募集していません。

同地区内にある小学校や中学校の空き教室を活用して体操着や防寒着、ランドセルを管理しています。

「大人から地域の子ども達へ挨拶を推進する会」

東那須野地区地域ケア会議では、「地域で子どもを育てるとは」というテーマで話し合いが行われました。その際、「まずは地域住民同士が挨拶をすることから始めていこう」という意見から、『大人から地域の子ども達へ挨拶を推進する会』が立ち上がりました。

「子ども達に挨拶の大切さを教えるためには、地域の大人から意識を変えていく必要がある」と代表の大島三千三さんは話します。子ども達の笑顔のために、「いってらっしゃい」や「おかえり」が飛び交う地域作りに向けて、今後も活動を続けていきます。

「北のおやじの会・おかんの会」

大人の部活動

約20年前、黒磯北中学校のPTA会長だった平山さんは、「中学校の学校祭を盛り上げたい！生徒を喜ばせたい！」という思いから「北のおやじの会・おかんの会」を立ち上げました。稲村地区で床屋を営む平山さんは、地域のつながりを生かして仲間を集め、それぞれの特技や趣味を生かして様々な活動に取り組んでいます。

今年度は、同校のボランティア部が夏祭りを企画したいという思いを聞き、ボランティア部と一緒に夏祭りで屋台を出しました。

「子ども達の自主性を伸ばせるよう様々な体験をサポートしていきたい。子どもの頃の経験が、大人になってからも思い出され、またやってみようと思いが続いてほしい。」と平山さんは話します。

あなたの“働きたい”を応援したい!!

「働きたいけど社会に出るには不安がある」「働いた経験がないから一歩踏み出すのが不安」等、地域には就労に関して不安を抱えている方がいます。また、農業を営んでいる方の中には「人手不足」の問題を抱えている方もいます。そこで、社会福祉協議会では、就労に関して不安を抱えている方と人手不足の問題を抱えている方のつながりを支援しています。

そのような中、社会福祉協議会で就労に向けて訓練していたＡさんと鍋掛地区で農業を営んでいるＢさんの想いがつながりました。本格的に働くこととなったＡさんは、既に作業を続けてから約１年が経過しました。ＡさんはＢさん家族から直々に指導を受け、今では独り立ちして、畑を任されています。初めて野菜を出荷したこと、初めてお給料をもらったこと等、今後も初めて尽くしが続きます。

～移動販売車の運行～

狩野地区では毎月第４土曜日の午前10時から、狩野公民館の一室で、地域の情報や困りごと等について話し合う「かりのかたり場」が開かれています！
事前の申し込みは不要です。年齢、性別、肩書等関係なく様々な方が集まっています。

ある時の「かりのかたり場」にて…

かりのかたり場の様子

住民A：近所に住む一人暮らしの高齢者の中に買い物に行けずに困っている方がいます。普段は市内に住む家族に買い物を頼んでいるようなのだけど、申し訳ない気持ちもあると言っていて…

住民B：バスを利用したらどうですか？

住民A：バスの利用はハードルが高いと言っていて。歩くのも大変そうだし。

（全員）どうしよう…。

住民C：最近、**移動販売車の運行**をテレビで観たけど、その方の家の近くにも来てもらえないのかな？

社協：移動販売を運行している事業所を社協で把握しているので聞いてみましょうか？

（全員）お願いします！

社協：その方以外にも同じように買い物に困っている方がいるかもしれませんね!?

自治会長：それでは**アンケート調査**をしてみましょう！

アンケートの結果… 買い物に困っている人が**複数いる**事が分かりました！

↓

地域住民みんなで移動販売の運行に向けて検討しました。

↓

その結果！ **月１回移動販売車が来てくれる事になりました！**

地域の“困りごと”に対しての、“あったらいいな”が実現しました！

現在では毎月第3金曜日に、狩野地区２ヶ所に移動販売車が来ています。

なお、この活動がきっかけで近隣の石林地区でも同日に移動販売が運行されています。

※移動販売車の運行状況は、社協だより発行時点の情報になります。
今後、地域の状況に応じて変更になる場合があります。

買い物支援 × 地域住民の交流の場

～地域の相談場所“つながる相談室”の開設～

～地域で輝く 阿久津 恵美子さん～

↑阿久津　恵美子さん(78)
長年、看護師として医療の現場に携わる。那須赤十字病院では看護部長として後進の育成に尽力。現在は、つながる相談室ぬくもり&もくれん・地域カフェ「円と縁」・居場所「相馬さん家」等地域の居場所で活躍中。

地域の相談場所“つながる相談室”の阿久津さんに話を聞いてきました！

Q. “つながる相談室”はどういう場所ですか？

A. 医療や健康、介護や暮らしのお困りごと、ちょっと聞いてみたいこと等、一緒に考えて、必要ならば適切な窓口につなげる場所です。

Q. つながる相談室を始めたきっかけを教えてください。

A. 以前、県の救急医療電話相談員をやっていた時に、病気についての困りごとやお薬のこと等、生活上の様々なお悩みの相談がありました。大変な思いをされている方が多く、その方々が気軽に相談出来る人がいないという状況が多くあることを知り、地域に相談できる居場所があったら良いなと思いました。その中で看護小規模多機能型居宅介護施設「ぬくもり」さんと「もくれん」さんが地域に相談室が必要だと共感してくださり、施設をお借りし“つながる相談室”を開設することができました。

Q. 実際に開設してみてどうですか？

A. 元気で長生きをする秘訣は「相談できる人がいる。居場所がある。」と言われています。相談室で人と人がつながることにより、地域行政の担当者や専門職とつながり、支援を受けやすくなります。また、地域には「出来る事があれば何かお役に立ちたい」と考えている方がたくさんいます。そのような方々ともつながっていけたら良いと思っています。

Q. 地域の人に一言お願いします！

A. コーヒーを用意してお待ちしております。色々なお話をお聞かせください。

つながる相談室は、毎月第一月曜日10:00～看護小規模多機能型居宅介護施設ぬくもり(三島地内)、
毎月第四月曜日10:00～看護小規模多機能型居宅介護施設もくれん(緑地内)にて開催中！

地域の居場所 ～白河屋さん～

白河屋菓子店(西栄町地内)さんではお店の一角を誰でも気軽に来られる地域のお茶のみ場として開放しています。長く地域に愛されている白河屋菓子店さんの店内には、今日も地域の方々が訪れてきます。

お店の一角の開放について、白河屋菓子店さんは「元気で長生きするためには、笑ったり喋ったりするのが大切。ここに来て、友達と話をしてもらえれば」と笑顔で話します。

→
地域の人々が気軽に訪れることが出来るように、外から中が見えるように工夫して椅子とテーブルを置いています。

箒根学園　朝ごはんプロジェクト！

月に一度、朝ごはんを無料で提供する“朝ごはんプロジェクト”が、箒根学園を会場として行われています。このプロジェクトは、子ども達や保護者に「朝ごはんを食べる事の大切さを知って欲しい！」という想いから、旧関谷小学校のＰＴＡ役員を中心にスタートしたものです。

現在は、“箒根サポーターズ”の皆さんが中心となって行われており、地域の方からの寄付や農家さんの野菜、アグリパル塩原さんからの調理器具の貸し出し等、たくさんの人の力で成り立っています。

～ある朝の様子～

↑この日は、おにぎり、かぼちゃスープ、ロールケーキを食べました。ハロウィンメニューです（＾＾）

早朝、静かな学校の一角にある調理室からは、「間に合うかな？」「ロールケーキにフォークつけた？」と、お父さん達の頼もしい声が聞こえてきます。

７時半を過ぎると子ども達の元気のいい声が聞こえ、一気に大忙し。「今日早いじゃん」「おかわりあるよ」と声を掛けられると、子ども達も嬉しそう。

子ども達はそれぞれに好きなおにぎりを選び、好きな場所に座り、時には学年の垣根を越えて一緒に食事を楽しんでいました。「選べるのが楽しい！」「好きな友達と一緒に食べられるのが嬉しい！」「美味しいご飯をありがとう！」と言って、朝の会に間に合うように教室に戻ります。静かになった食事場所の片付けをする“箒根サポーターズ”の皆さんの表情は、笑顔に満ち溢れていました。

←箒根サポーターズの活動の様子

箒根サポーターズは、地域や子ども達のために集う箒根地区の人々の有志団体です。保護者だけでなく、地域の大人達や学校ＯＢ、現役のＰＴＡ役員等様々な人で構成されています。イベントや地域のお祭り等で活躍し、屋台の売り上げは朝ごはんプロジェクトの運営費等に充てられています。

～自治会が主催する連携相談会～

残暑厳しい８月17日(土)、門前自治会が主催する「塩原温泉病院・社会福祉法人連携相談会」が塩原温泉旅館協同組合・テレビ組合前（塩原地内）にて行われました。今回は昨年度に続き２度目の開催となり、塩原地区にある３つの社会福祉法人の協力に加え、新たに塩原温泉病院も加わり、より細かい悩みや心配ごとにも対応できるようになりました。

医師や看護師、保育士、社会福祉士等、各分野の専門職に気軽に相談できる機会であり、自治会が主催している相談会としては非常に珍しく貴重な会です。主催している門前自治会の方は、「塩原地区全体のために音頭をとりながら、これからも定期的に開催し、門前地区以外の方にも広く対応していきたい！」と話してくれました。

連携協力機関

- 子育てについて
【社会福祉法人天野会　塩原認定こども園】
- 介護について
【社会福祉法人悠々の郷しおばら地域包括支援センター】
- 障がいについて
【社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
地域活動支援センターふれあいの森】
- 病気や健康について
【栃木県医師会　塩原温泉病院】

少子化や人口減少が課題と言われている中で、生活の困りごとも複雑化、多様化しているんだよね。身近なところに相談できる場所があるって心強いよね！

那須塩原市内には、今回紹介した地域の取り組み以外にも素晴らしい取り組みがたくさんあり、輝いている人がたくさんいます。

皆さんの活動一つ一つが那須塩原市の未来を創るとともに、小さな子ども達にとって、将来誇りを持つことができる地域になっていきます。

これからも市民の皆さんが安心して暮らせる地域づくりを目指して共に歩んでいきましょう！

こころまるは、これからも皆さんの活動や取り組みたいという気持ちを精一杯応援します！

みんなもなすしおばらしの㋠㋥㋙㋡を考えてみてね♡

なすしおばらしの

㋠ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

㋥ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

㋙ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

㋡ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

僕のはこれ！

㋠ねひごろから

㋥かまいしきをもって

おた㋙いを

㋡かいしあう

那須塩原市 第19回 社会福祉大会のお知らせ

開催日 令和7年1月25日(土) 開場 午後1時 開会 午後1時30分

会場 GUNEI三島ホール 入場無料 ※整理券が必要です

●第1部 式典 午後1時30分～ ●第2部 講演 午後2時45分～

可能性への挑戦

講師 NHK大相撲解説者 舞の海秀平(まいのうみしゅうへい)さん

【講師プロフィール】
1968年2月17日生まれ。日大相撲部にて活躍。
山形県の高校教師の内定が決まっていたにもかかわらず、周囲の反対を押し切って、夢であった大相撲入りを決意。
新弟子検査基準(当時)の身長に足りなかったため、頭にシリコンを入れて新弟子検査に合格。角界最小の身体ながら、「猫だまし」、「八艘飛び」等ファンを驚かせる数々の技をくりだし、"技のデパート"の異名をとる。
1999年11月の引退までに、技能賞を5回受賞。
現在は、NHK大相撲解説者等をつとめるほか、テレビ・ラジオ等幅広く活躍中。生まれ故郷の青森県鰺ヶ沢町の「ふるさと大使」。
2011年より近畿大学経営学部客員教授に就任。

整理券配布開始日 12月23日(月)から
※平日のみ(12/28～1/5の年末年始は除く)

予定枚数配布次第終了

配布場所
- ●那須塩原市社会福祉協議会本所(那須塩原市南郷屋5丁目163番地)
- ●那須塩原市社会福祉協議会黒磯支所(那須塩原市桜町1番5号)
- ●那須塩原市社会福祉協議会塩原支所(那須塩原市中塩原1番地2)

[主催] 那須塩原市・社会福祉法人那須塩原市社会福祉協議会
[共催] 那須塩原市教育委員会・那須塩原市民生委員児童委員協議会連合会・那須塩原市自治会長連絡協議会・那須塩原市老人クラブ連合会・那須塩原市身体障害者福祉会・那須塩原市心身障害児(者)父母の会・那須塩原市ひとり親家庭福祉連合会

住み慣れた地域で どんな時も 安心して暮らせるために

法人後見事業のごあんない

家庭裁判所の審判に基づき、社会福祉協議会が法人として成年後見人等（後見・保佐・補助）になって支援を行います。成年後見制度は、すでに認知症、知的障害、精神障害等により自分自身で法律行為を行うことが難しい場合に家庭裁判所が適任と思われる援助者を選任します。本人の権利と財産を守り、本人の意思を尊重した安心した生活が送れるように法律的に支援するための制度です。

支援内容

財産管理
本人の預貯金や日常生活品費、不動産等の財産の管理や権利証や通帳等の保管を行います。

身上保護
介護・福祉サービスの手続きや医療・福祉施設への入退所の手続き等を行います。

日常生活自立支援事業も行っています あすてらす

ご本人の判断能力と、どんなことに困っていて、どんな支援が必要かをよく考えて、その方に合った制度を活用していくことが大切です。ぜひご相談ください。**問合せ先：地域福祉課権利擁護係 TEL 0287－38－1161**

地域共生社会振興基金寄付者一覧 (令和５年12月１日～令和６年11月30日)(敬称略)

- 株式会社真田ジャパン
- 株式会社Shikano
- 那須塩原市一般廃棄物処理協同組合
- そすいの郷ふるさとにしなす産直会
- 石川建設株式会社
- 株式会社大島自販
- 那須野ヶ原ライオンズクラブ
- 有限会社那須クリーン
- 那須野農業協同組合

地域共生社会振興基金とは、地域共生社会の実現のため、那須塩原市社会福祉協議会が設置している基金です。

発行 社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会
住所 〒329-2705 那須塩原市南郷屋5丁目163番地（健康長寿センター内）
ＴＥＬ ０２８７－３７－５１２２ ＦＡＸ ０２８７－３６－８７１０
ホームページアドレス http://ns-shakyou.jp/
Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp
Facebook https://www.facebook.com/nasushiobarashakyou/

こころまるから
福祉のまるごと相談ができる
LINEを紹介するよ。
ぜひ友達登録してみてね!

この社協だよりは、地域のみなさまからのご寄付や会費が財源となっています。